

一 般 質 問 通 告 表

平成24年第2回始良市議会定例会（6月22日（金） 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 小山田邦弘	1. 始良市としての 一体感醸成について	<p>合併から3年目に入り、第一次総合計画や教育基本方針などが定められたことにより、市民にとっても始良市としての枠組みが徐々に見えてきた。一方で、今年度から地域コミュニティビジョンの策定に入るなど、枠組みの“中身”づくりも始まっている。</p> <p>つまり、現時点での本市のまちづくりは、全体の枠組みを固めながら同時に中身である個別の地域課題や行政課題を詰めていくという難しい段階に入っていると言える。このような段階においては、強いリーダーシップに加え、市民の一体感、連帯感が不可欠と考える。市民の一体感に対する現状認識と今後これを醸成するための具体的施策を問う。</p>	市長
	2. 広域的連携による環境、観光政策について	<p>環境基本条例が定められたこの春、霧島錦江湾国立公園が誕生したことは、本市の環境政策、観光政策両面において大きなインパクトとなり、市民目線でもこれにより新しい動きが始まるのではないかと期待も広がっている。</p> <p>新しい動きにより本市に何らかの果実がもたらされるという期待もあるが、一方で環境や観光は本市だけでは完結しないものであり、必ず広域的なつながりや連携を必要とする。</p> <p>観光については、錦江湾奥4市が観光看板やロゴ統一を図ることや、リーフレットの作成、イベントの連携についての協議を進めるということだが、</p>	市長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>その後の進展を問う。 環境についても同様に広域的連携による施策の検討はないのかを問う。</p>	
22. 堀 廣子	<p>1. 無給水地域の水道整備について</p> <p>2. 高齢者給食の配食サービス拡充について</p> <p>3. 青年就農給付金について</p>	<p>(1) 昨年議会の質疑で、「無給水地域である本道原においては、霧島市の配水施設の改良をふまえ、今後早い時期に実施できる方向で協議していきたい」との答弁であったが、その後の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 本道原に上水道を整備した場合、費用はいくらかかるか。また、簡易水道を整備した場合の費用はいくらかかるか。</p> <p>(3) 厚生労働省が推進している地域水道ビジョンの作成や水道広域化を今後検討する考えはあるのか。</p> <p>高齢者給食の配食サービスは、高齢者の食と健康を守り、安否確認を目的として行われている。 始良地区及び蒲生地区においては、日曜日もサービスが行われているが、加治木地区では平日のみのサービスとなっている。始良市全体でサービスを統一することを求める。 加治木地区でも日曜日に配食を行えるよう、サービスを拡充できないか。</p> <p>新規就農時の所得が一定確保される青年就農給付金制度が4月施行された。 (1) 青年就農給付金制度の内容を示せ。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
22. 堀 廣子		<p>(2) 経営開始型の給付は市町村が窓口になるが、市民への周知、申請、給付に至るまでの手続き等どのようになるのか。</p> <p>(3) 準備型、経営開始型それぞれ該当者は何人ぐらいいるのか。また、予算の計上はいつになるのか。</p> <p>(4) 本年度希望者が給付を受けられるよう、迅速に「人・農地プラン」の作成を求めるが、どうか。</p>	市長